

平成28年度 東京工業大学 2次試験前期日程(数学問題)180分
理・工・生命理工 数I・II・III・A・B 平成28年2月25日

1 a を正の定数とし, 放物線 $y = \frac{x^2}{4}$ を C_1 とする.

(1) 点 P が C_1 上を動くとき, P と点 $Q\left(2a, \frac{a^2}{4} - 2\right)$ の距離の最小値を求めよ.

(2) Q を中心とする円 $(x - 2a)^2 + \left(y - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 = 2a^2$ を C_2 とする. P が C_1 上を動き, 点 R が C_2 上を動くとき, P と R の距離の最小値を求めよ.

2 $\triangle ABC$ を一辺の長さ 6 の正三角形とする. サイコロを 3 回振り, 出た目を順に X, Y, Z とする. 出た目に応じて, 点 P, Q, R をそれぞれ線分 BC, CA, AB 上に

$$\overrightarrow{BP} = \frac{X}{6}\overrightarrow{BC}, \quad \overrightarrow{CQ} = \frac{Y}{6}\overrightarrow{CA}, \quad \overrightarrow{AR} = \frac{Z}{6}\overrightarrow{AB}$$

をみたすように取る.

(1) $\triangle PQR$ が正三角形になる確率を求めよ.

(2) 点 B, P, R を互いに線分で結んでできる図形を T_1 , 点 C, Q, P を互いに線分で結んでできる図形を T_2 , 点 A, R, Q を互いに線分で結んでできる図形を T_3 とする. T_1, T_2, T_3 のうち, ちょうど 2 つが正三角形になる確率を求めよ.

(3) $\triangle PQR$ の面積を S とし, S のとりうる値の最小値を m とする. m の値および $S = m$ となる確率を求めよ.

3 水平な平面 α の上に半径 r_1 の球 S_1 と半径 r_2 の球 S_2 が乗っており, S_1 と S_2 は外接している.

(1) S_1, S_2 が α と接する点をそれぞれ P_1, P_2 とする. 線分 P_1P_2 の長さを求めよ.

(2) α の上に乗っており, S_1 と S_2 の両方に外接している球すべてを考える. それらの球と α の接点は, 1 つの円の上または 1 つの直線の上にあることを示せ.

4 n を 2 以上の自然数とする.

(1) n が素数または 4 のとき, $(n-1)!$ は n で割り切れないことを示せ.

(2) n が素数でなくかつ 4 でもないとき, $(n-1)!$ は n で割り切れることを示せ.

5 次のように媒介変数表示された xy 平面上の曲線を C とする：

$$\begin{cases} x = 3 \cos t - \cos 3t \\ y = 3 \sin t - \sin 3t \end{cases}$$

ただし $0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}$ である。

- (1) $\frac{dx}{dt}$ および $\frac{dy}{dt}$ を計算し、 C の概形を図示せよ。
- (2) C と x 軸と y 軸で囲まれた部分の面積を求めよ。

解答例

- 1 (1) C_1 上の点 P を $\left(t, \frac{t^2}{4}\right)$, $f(t) = PQ^2$ とする. $a > 0$ より, $Q\left(2a, \frac{a^2}{4} - 2\right)$ の x 座標は正であり, C_1 は y 軸に関して対称であるから, PQ の距離が最小となるのは, $t \geq 0$ のときについて調べればよい.

$$\begin{aligned} f(t) &= (t - 2a)^2 + \left(\frac{t^2}{4} - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 \\ f'(t) &= 2(t - 2a) + 2\left(\frac{t^2}{4} - \frac{a^2}{4} + 2\right) \cdot \frac{t}{2} \\ &= \frac{t^3}{4} - \frac{a^2}{4}t + 4t - 4a \\ &= \frac{1}{4}(t - a)(t^2 + at + 16) \end{aligned}$$

このとき, $t^2 + at + 16 > 0$ であることに注意して

t	(0)	...	a	...
$f'(t)$		-	0	+
$f(t)$		\searrow	極小 $a^2 + 4$	\nearrow

よって, 求める最小値は $\sqrt{f(a)} = \sqrt{a^2 + 4}$

- (2) $C_2: (x - 2a)^2 + \left(y - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 = 2a^2$ の半径が $\sqrt{2}a$ であるから (1) の結果に注意して

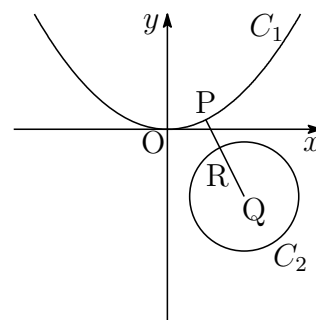
$\sqrt{2}a \geq \sqrt{a^2 + 4}$, すなわち, $a \geq 2$ のとき

PR の最小値 0

$\sqrt{2}a < \sqrt{a^2 + 4}$, すなわち, $0 < a < 2$ のとき

PR の最小値 $\sqrt{a^2 + 4} - \sqrt{2}a$

よって, PR の最小値は $\begin{cases} a \geq 2 & \text{のとき } 0 \\ 0 < a < 2 & \text{のとき } \sqrt{a^2 + 4} - \sqrt{2}a \end{cases}$



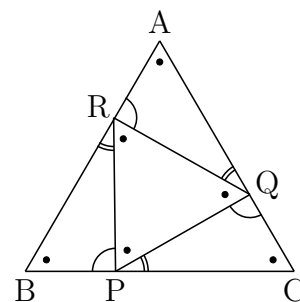
- 2 (1) $\triangle PQR$ が正三角形のとき

$$\triangle BPR \equiv \triangle CQP \equiv \triangle ARQ$$

であるから, $BP = CQ = AR$

したがって $X = Y = Z$

よって, 求める確率は $\frac{6}{6^3} = \frac{1}{36}$



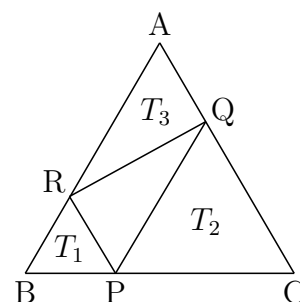
- (2) T_1 と T_2 だけが正三角形であるとき

$$RB = BP, PC = CQ, QA \neq AR$$

ゆえに $6 - Z = X, 6 - X = Y, 6 - Y \neq Z$

すなわち $Y = Z = 6 - X$ ($X = 1, 2, 4, 5$)

T_1 と T_2 だけが正三角形となる確率は $\frac{4}{6^3}$



T_2 と T_3 だけ, T_3 と T_1 だけが正三角形となる確率もこれと等しい.

よって, 求める確率は $\frac{4 \cdot 3}{6^3} = \frac{1}{18}$

- (3) $\frac{\triangle BPR}{\triangle ABC} = \frac{(6-Z)X}{36}, \frac{\triangle CQP}{\triangle ABC} = \frac{(6-X)Y}{36}, \frac{\triangle ARQ}{\triangle ABC} = \frac{(6-Y)Z}{36}$ より

$$\begin{aligned} \frac{36S}{\triangle ABC} &= \frac{36}{\triangle ABC} (\triangle ABC - \triangle BPR - \triangle CQP - \triangle ARQ) \\ &= 36 - (6-Z)X - (6-X)Y - (6-Y)Z \\ &= 36 - 6(X+Y+Z) + XY + YZ + ZX \\ &= (6-X)(6-Y) + Z(X+Y-6) \end{aligned}$$

- (i) $X+Y-6 < 0$ のとき, $Z=6$ で S は最小となり

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = XY \geq 1 \quad (\text{等号は } X=Y=1 \text{ のとき})$$

- (ii) $X+Y-6 = 0$ のとき, $X \neq 6$ に注意して

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = (6-X)(6-Y) = (6-X)X = 9 - (X-3)^2 \geq 5$$

- (iii) $X+Y-6 > 0$ のとき, $Z=1$ で S は最小となり

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = 5 + (5-X)(5-Y) \geq 1 \quad (\text{等号は } (X, Y) = (1, 6), (6, 1) \text{ のとき})$$

(i)~(iii) から $\frac{36m}{\triangle ABC} = 1$ であるから

$$m = \frac{1}{36} \triangle ABC = \frac{1}{36} \cdot \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 6 \sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

これを満たすのは, $(X, Y, Z) = (1, 1, 6), (1, 6, 1), (6, 1, 1)$ の 3 組.

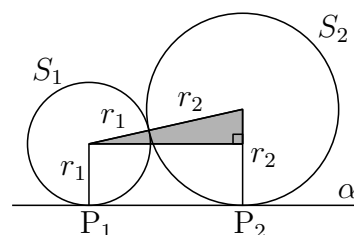
よって, 求める確率は $\frac{3}{6^3} = \frac{1}{72}$

3 (1) 右の図の直角三角形について

$$P_1P_2^2 + (r_1 - r_2)^2 = (r_1 + r_2)^2$$

$$P_1P_2^2 = 4r_1r_2$$

よって $P_1P_2 = 2\sqrt{r_1r_2}$



(2) α 上の半径 r の球 S が, S_1 および S_2 に外接するとき, S と α の接点を P とすると

$$P_1P = 2\sqrt{r_1r}, \quad P_2P = 2\sqrt{r_2r}$$

(i) $r_1 \neq r_2$ のとき $P_1P : P_2P = \sqrt{r_1} : \sqrt{r_2}$

2点 P_1, P_2 を $\sqrt{r_1} : \sqrt{r_2}$ に内分, 外分する点を A, B とすると, P は線分 AB を直径とする円周上にある.

(ii) $r_1 = r_2$ のとき $P_1P = P_2P$

P は線分 P_1P_2 の垂直二等分線上にある.

- 4 (1) n が素数のとき, $n - 1$ 以下の正の整数は n を因数に持たないので

$$(n - 1)! = (n - 1)(n - 2) \cdots 2 \cdot 1$$

は n で割り切れない.

また, $n = 4$ のとき, $(n - 1)! = 6$ は, n で割り切れない.

- (2) n が素数でなくかつ 4 でもないとき, $n = pq$, $2 \leq p \leq q$ とおくと

$$n - 1 - q = pq - 1 - q = (p - 1)(q - 1) + (p - 2) > 0$$

ゆえに $2 \leq p \leq q < n - 1$

(i) $p \neq q$ のとき $(n - 1)! = (n - 1) \cdots q \cdots p \cdots 1$

したがって, $(n - 1)!$ は $n = pq$ で割り切れる.

(ii) $p = q$ のとき, $n \neq 4$ であるから, $2 < p$, $2p < p^2 = n$ より, $2p \leq n - 1$

$(n - 1)!$ は p と $2p$ を因数にもつので, $(n - 1)!$ は $n = p^2$ で割り切れる.

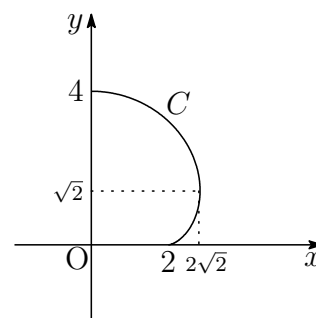
(i), (ii) より, n が素数でも 4 でもないとき, $(n - 1)!$ は n で割り切れる.

$$\boxed{5} \quad (1) \quad \begin{cases} x = 3 \cos t - \cos 3t \\ y = 3 \sin t - \sin 3t \end{cases} \quad (0 \leq t \leq \frac{\pi}{2})$$

上式を t について微分すると

$$\begin{aligned} \frac{dx}{dt} &= -3 \sin t + 3 \sin 3t = 6 \cos 2t \sin t \\ \frac{dy}{dt} &= 3 \cos t - 3 \cos 3t = 6 \sin 2t \sin t \end{aligned}$$

t	0	...	$\frac{\pi}{4}$...	$\frac{\pi}{2}$
$\frac{dx}{dt}$		+	0	-	
x	2	↗	$2\sqrt{2}$	↘	0
$\frac{dy}{dt}$		+	+	+	
y	0	↗	$\sqrt{2}$	↗	4



C の概形は右の図のようになる.

(2) 求める面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_0^4 x \, dy = \int_0^{\frac{\pi}{2}} x \frac{dy}{dt} \, dt \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{2}} (3 \cos t - \cos 3t)(3 \cos t - 3 \cos 3t) \, dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (3 \cos^2 t - 4 \cos 3t \cos t + \cos^2 3t) \, dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left\{ \frac{3}{2}(1 + \cos 2t) - 2(\cos 4t + \cos 2t) + \frac{1}{2}(1 + \cos 6t) \right\} \, dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left(2 - \frac{1}{2} \cos 2t - 2 \cos 4t + \frac{1}{2} \cos 6t \right) \, dt \\ &= 3 \left[2t - \frac{1}{4} \sin 2t - \frac{1}{2} \sin 4t + \frac{1}{12} \sin 6t \right]_0^{\frac{\pi}{2}} \\ &= 3\pi \end{aligned}$$